

令和4年度 実績報告

番号	事業名	効果	主な実績内容等
1	会費の募集 会員の募集・会費納入の推進	会費を納入いただいたことで、町民に直接的・間接的に社会福祉事業を支援していただいている。(1世帯500円)	募集期間 10月1日から3ヶ月間 会員総数 2,442件 会費総額 1,221,000円
＜地域福祉事業＞			
2	ボランティアセンター運営事業 補助金・会費収入 495,958円 支出総額 495,958円	ボランティアの相談・登録・斡旋などを実施し、新たなボランティアの発掘と育成を図った。	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動の促進 新規ボランティア登録者数 1名 相談・斡旋 5件 福祉教育の推進 中学校60,000円 小学校(3校) 各40,000円 (計180,000円) ボランティア保険の加入 393名
3	地区社会福祉協議会事業 補助金・会費収入 646,000円 共同募金収入 420,000円 支出総額 1,066,000円 ※関地区社会福祉協議会 379,000円 南白亀地区社会福祉協議会 280,000円 白湯地区社会福祉協議会 407,000円 ・介護予防の取組み	各関係機関と連携して、小域福祉圏を核としてボランティア活動を中心にサロンの普及を図るとともに、広報啓発を行い住民の参加意欲を高めた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止月もあったが、開催中止の期間は、安否確認のための電話連絡、手紙等、感染予防に努めながら行うことで参加者の不安軽減につながった。 各地区社会福祉協議会主催により、「友達づくり・安否確認・介護予防」を目的にサロンを実施し、健康に不安がある、各種相談をうけたい、心配がある参加者の情報を受け、解決やサービスに繋がった。	小域福祉圏(関・南白亀・白湯地区社会福祉協議会) ・関フレンドサロン・夢サロン ・見守り活動・広報発行(年2回) ・スマイルクラブと保育所の交流会助成 ・はがき慰問(年賀状送付) 関38名・南白亀89名・白湯106名 ・アルミ・プルトップの回収 令和4年度実績 28,520円 福祉教育関係 [団体:関・南白亀・白湯地区社会福祉協議会] [学校:関小学校・南白亀小学校・白湯小学校・白子中学校・茂原高校] (福祉教育事業内容) ・はがき慰問(年賀状送付) (福祉教育会議関係) ・福祉教育推進連絡会会議(書面) ・福祉教育プログラム企画部会(書面) ・各地区役員会開催、総会(書面議決) ・関地区社会福祉協議会サロン (1)開催数21回 (2)延べ参加人数 スタッフ含め369名 ・南白亀地区社会福祉協議会サロン (1)開催数9回 (2)延べ参加人数 スタッフ含め209名 ・白湯地区社会福祉協議会サロン (1)開催数10回 (2)延べ参加人数 スタッフ含め160名
＜共同募金配分金事業＞			
4	共同募金活動等の推進	地域福祉活動に不可欠な民間活動の財源確保とともに、広報啓発活動及び地域福祉の積極的な取り組み支援を図った。	赤い羽根募金(10月1日から3ヶ月間) 目標額 2,310,000円 実績額 2,209,954円(達成率95.6%) 件数 2,551件(自治会2,442件 その他109件)

番号	事業名	効果	主な実績内容等
5	<赤い羽根募金配分金> 配分金収入 2,178,580円 参加費収入 27,400円 支出総額 2,205,980円	主な配分事業：敬老祝品・スマイルクラブ助成・幼児サークル助成・地区社協助成・広報費等	<助成事業> ・地区社会福祉協議会助成（3地区） 420,000円 ・社協広報 343,107円 ・敬老祝賀品 87,518円 ・防災用備品代 780,293円 ・スマイルクラブ助成 100,000円 ・福祉器具貸し出し 6,000円 ・スマホの基本講座（子育て支援） 199,282円 ・ほっぺの会助成（幼児サークル） 20,000円 ・少年サッカーイベント助成 50,000円 ・子育てサロン助成 197,250円 子育てサロン開催数 10回 延べ参加人数 121人（親子 50組） ・事務用消耗品 2,530円 合計額 2,205,980円
6	歳末たすけあい募金 収入総額 50,000円 支出総額 50,000円	町内各種団体の年末行事への支援を行った。	歳末たすけあい募金（10月1日から3ヶ月間） 目標額 461,000円 実績額 550,278円（達成率119.3%） 件数（自治会：2,445件 その他：8件） ・各種団体支援 ほっぺの会（幼児サークル）支援 20,000円 ボランティア連絡協議会 ゆうあい訪問慰問品配布 30,000円
<相談事業>			
7	心配ごと相談事業 補助金・会費収入等 84,032円 支出総額 84,032円	住民の日常生活の様々な相談に対し、民生委員児童委員、行政相談委員の協力を得て、相談者に助言したり、適切な機関へ紹介する等問題解決の手助けを行った。また、第2水曜日は人権擁護委員も加わった合同相談を実施し、幅広く問題解決に結び付けた。	相談取扱件数：27件 主な相談内容：財産11件、家族3件、苦情3件、その他3件、人権2件、住宅・結婚・障害者福祉・母子福祉・職業 各1件 弁護士相談 4件
8	結婚相談事業 受託金収入 398,192円 支出総額 398,192円	相談所を開設し、現在の登録者や結婚について不安をもっている方の相談を行った。	結婚相談員連絡会 12回
<在宅福祉事業>			
9	給食サービス事業 補助金・会費収入 526,899円 支出総額 526,899円	75歳以上の見守りが必要な一人暮らし高齢者に、ボランティアが調理した弁当を届け安否確認を行った。	毎月第2・4金曜日配達（年24回） 登録者数 39名 延配達数 831名
10	紙おむつ給付事業 補助金・会費収入 1,158,047円 支出総額 1,158,047円	在宅で介護保険制度の要介護4・5の認定等を受けた常時失禁している方へ年4回、紙おむつ等を給付し、在宅介護及び経済的負担の軽減を図った。	支給月 4月・7月・10月・1月（年4回） 給付者数 30～39名 延べ人数 138名
11	外出支援サービス事業 受託金収入 3,119,172円 支出総額 3,119,172円	単独で公共交通機関を利用できない、概ね65歳以上の高齢者のみの世帯に対し、リフト付きのワゴン車により「居宅から近隣市町村の医療機関・公共機関等へ」の外出支援を行った。	登録者数 23名 延べ利用人数 604名
12	らくらくタクシー事業 受託金収入 1,509,926円 支出総額 1,509,926円	高齢者を町内の医療機関、商店、停留所等に送迎し、外出の支援を行った。	登録者数 64名 延べ利用人数 845名 延べ行先件数 1,226件

番号	事業名	効果	主な実績内容等
<貸付事業>			
13	生活援護資金貸付(町社協) 前年度繰越金 1,275,365円 R4貸付額 107,000円 R4返済額 117,000円 繰越金 1,285,365円	低所得者世帯へ援護資金を貸し付け、生活援護を図った。	生活援護資金(町)貸付 内訳 貸付件数:4件 貸付総額:107,000円 貸付内容:生活保護支給までの生活費 相談延べ件数:24件
14	千葉県社協貸付事業 (事務費) 県受託金収入 87,400円 支出総額 87,400円 (コロナ特例資金 事務費) 県受託金収入 387,000円 支出総額 387,000円	低所得者世帯・障害者世帯・高齢者世帯に対して資金の貸付申請の支援、必要な相談支援を行い、その世帯の経済的な自立と生活の安定を図った。 新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で生活に困窮された世帯に対し生活費等の資金の貸付申請の支援、相談に応じ必要な機関につないだ。	生活福祉資金・臨時特例つなぎ資金 貸付件数:1件 貸付種類:緊急小口資金 貸付総額:100,000円 相談延べ件数:13件 生活福祉資金(コロナ特例) 貸付件数:3件 貸付種類:緊急小口資金特例資金 2件 400,000円 総合支援資金特例貸付 1件 240,000円 貸付総額:640,000円 相談延べ件数:47件
<日常の生活支援>			
15	日常生活自立支援事業 県受託金収入 1,118,000円 利用料収入 114,800円 支出総額 1,232,800円	高齢者、知的障害者、精神障害者などの判断能力が不自由な者に対して、福祉サービスの利用に関する援助等を行うことにより、自立した生活が送れるように支援した。	福祉サービス利用援助事業 ・財産管理サービス ・財産保全サービス ・新規契約:3件、解約1件 ・R5.3.31現在利用者:8名
16	法人後見事業 補助金・会費収入 20,972円 支出総額 20,972円	判断力が不十分な認知症高齢者、精神障害者、知的障害者の方に、財産管理・契約などの相談、助言、後見事務ができるように事務を進めた。	一宮家庭裁判所への届出 定款・規程の整備 法人後見受任調整会議の委員の依頼 広報による周知
<心身障がい者(児)福祉の推進>			
17	介護用品の貸出	リフト付きのワゴン車や車いすを無料で貸し出し、障がいのある方や高齢者の社会参加のための支援を図った。	車椅子 35件 福祉カー 2件
<児童・母子福祉の推進>			
18	交通遺児援護事業 (県社協)	義務教育中の交通遺児家庭に対して、図書券や激励金又は奨励金を支給し、経済的援助を図る。	町内の保育所・小中学校の調査を行った。
<各種団体支援>			
19	団体活動助成事業 受託金収入 618,000円 支出総額 618,000円	福祉団体を助成し、活動を支援した。	母子寡婦福祉会 29,000円 保護司会 85,000円 遺族会 184,000円 障がい者福祉会 266,000円 更生保護女性会 54,000円

番号	事業名	効果	主な実績内容等
20	<p>＜介護保険 包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）＞</p> <p>地域包括支援センター事業</p> <p>受託金収入 13,922,869円</p> <p>プラン料収入 1,822,860円</p> <p>雑収入 100,000円</p> <p>支出総額 15,845,729円</p>	<p>・要支援者及び日常生活総合事業対象者に対して、適切なケアマネジメントを実施し、サービス導入をしたことにより、利用者の生活の質の向上・自立支援・重度化防止へつなげた。</p> <p>・家族関係の多様化・希薄化により相談内容も複雑化している。このような状況の中、関係機関と連携を図り、利用者及び家族の支援に介入できた。</p> <p>・介護支援専門員が、包括的・継続的ケアマネジメントを実践できるように、適切な指導・助言が出来た。</p>	<p>1. 指定介護予防支援事業</p> <p>(1) 介護予防支援給付管理数 773件</p> <p>2. 包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）</p> <p>(1) 第1号介護予防支援事業 ケアマネジメントAの作成 ケアマネマネジメントA給付管理数 393件</p> <p>(2) 総合相談業務 相談件数 333件 〔世帯別相談内訳〕 独居世帯132件 高齢者世帯80件 8050世帯23件 一般世帯95件 その他3件 〔相談対象者内訳〕 介護支援専門員25件 サービス事業者4件 医療機関32件 施設1件 自立支援機関3件 行政37件 民生委員9件 知人17件 家族141件 本人53件 その他11件 〔方法別内訳〕 電話227件 来所62件 訪問44件 その他0件 〔相談内容内訳〕 認知症支援79件 障がい者支援(精神・身体・知的)20件 ターミナル支援17件 病院受診支援25件 退院・退所支援28件 生活支援71件 生活困窮支援27件 生活環境整備支援24件 介護福祉サービス188件 施設入所支援48件 介護方法2件 訪問依頼・状況確認143件 関係機関調整76件 権利擁護・成年後見制度7件 消費者被害0件 高齢者虐待(疑いも含む)6件 やむを得ない事由による措置0件 苦情全般6件 その他14件</p> <p>(3) 権利擁護業務</p> <p>・成年後見制度の説明や申立てに当たっての関係機関の紹介数 7件 →上記のうち市町村申立て事例数 1件</p> <p>・老人福祉施設等への措置の支援 0件</p> <p>・消費者被害等の防止 →町内居宅介護支援事業所に対して、千葉県警察が発行する啓発情報チラシを配布し、消費者被害等の防止啓発をおこなった。</p>

番号	事業名	効果	主な実績内容等
			<p>(4) 包括的・継続的ケアマネジメント業務</p> <p>[介護支援専門員の意見交換会] ※コロナの影響により中止</p> <p>[地域ケア個別会議]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年9月28日 1事例(ZOOM開催) 参加者：医療介護等の専門職12名・傍聴者なし ・令和4年11月28日 1事例(ZOOM開催) 参加者：医療介護等の専門職12名・傍聴者なし ・令和5年1月23日 1事例(ZOOM開催) 参加者：医療介護等の専門職16名・傍聴者なし <p>[事例検討会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年5月18日 1事例 参加居宅介護支援事業所 3事業所 参加者 8名 <p>[介護支援専門員研修]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年10月19日 13:30~16:30 講師：九十九里病院 作業療法士 芝井 孝祐氏 ～利用者の自立支援 生活行為向上を目指したケアマネジメントを理解する 参加居宅介護支援事業所 16事業所 参加者 29名 <p>3. 包括的支援事業（社会保障充実分）</p> <p>(1) 在宅医療・介護連携促進事業</p> <p>[医療・介護職の意見交換会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年7月20日 参加介護支援専門員 8名 大多和医院 森院長 看護師2名 <p>(2) 認知症総合支援事業</p> <p>[認知症初期集中支援チーム活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム活動介入(対象)事例0件 ・チーム医への相談・報告件数8件 <p>[長生郡5町村認知症初期集中支援チーム検討委員会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回開催(令和4年11月17日 長柄町役場) <p>[認知症家族会・認知症カフェ(オレンジカフェ白子)の開催]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年3月17日 関ふれあいセンター 参加者5名 他介護支援専門員2名 <p>[認知症サポーター養成講座]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年2月15日 白子町公民館研修室 受講者 9名

番号	事業名	効果	主な実績内容等
			<p>4. 介護予防・日常生活支援総合事業 〔通所Bの運営補助〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい幸民館 月曜日：24回開催 参加実人数10名 金曜日：24回開催 参加実人数11名 ・脳のトレーニング教室 木曜日：25回開催 参加実人数17名 <p>〔ケアマネジメントCの作成〕</p> <p>※通所B利用対象者に対するケアプラン作成数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい幸民館 10件 ・脳のトレーニング教室 15件 <p>5. その他 介護度重度化防止推進員支援 〔介護予防出張教室〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7箇所 53回実施(現任推進員数6名) ・参加実人数36名(延べ人数279名)
＜介護保険 総合事業 一般介護予防事業＞			
21	<p>いきいき健口教室事業</p> <p>受託金収入 18,404円</p> <p>支出総額 18,404円</p>	<p>口腔機能訓練を実施し、口周りの筋力が強化され唾液が出るようになり呑み込みが良くなることを理解してもらうことができた。また自宅でも継続できる口腔機能訓練の実施方法等も周知できた。</p>	<p>開催日：令和4年11月21日</p> <p>参加数：参加者数7名</p>
22	<p>介護支援サポーター事業</p> <p>受託金収入 55,995円</p> <p>支出総額 55,995円</p>	<p>高齢者が介護支援サポーター活動を通して積極的に社会参加し、地域貢献することを奨励するとともに、高齢者の自発的な介護予防を促進した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登録者24名 ・サポーター活動延べ時間642時間 ・ポイント換金者19名 <p>(1千円：4名、2千円：6名、3千円：4名、4千円：2名、5千円：3名)</p>

番号	事業名	効果	主な実績内容等
23	<p>生活支援体制整備事業 受託金収入 1,983,155円 支出総額 1,983,155円</p>	<p>高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援等サービスの提供体制の構築に向けたコーディネートを行った。</p>	<p>(1) 協議体開催 4回 出席者：白子町役場健康福祉課介護保険係 白子町地域包括支援センター 生活支援コーディネーター 主な協議内容： ①たすけあいチームの自治会への事業展開について ②生活便利帳（社会資源マップ）の作成及び配布・追加資料について ③移動販売について</p> <p>(2) 生活便利帳の配布及び周知 配布：1人暮らし高齢者・介護保険要支援者・健康倶楽部参加者 地区社協サロン参加者・協力事業所・マンション・金融機関 周知：広報・ホームページ</p> <p>(3) たすけあいチームの案内・移動販売車の情報提供 対象自治会：32自治会</p> <p>(4) 牛込西自治会と「たすけあいチーム」について意見交換及び進捗確認</p> <p>(5) 関北自治会部長会議に「たすけあいチーム」を説明</p> <p>(6) 本納地区生活支援コーディネーターと意見交換</p> <p>(7) 移動販売車の協議・説明・周知 対象自治会：浜宿東自治会・幸治東自治会・北日当自治会 周知：広報</p> <p>(8) 生活情報の提供：個人7件</p>